

令和7年度第8回あおもり未来ミーティング（中部第6区連合町会）会議概要

日 時：令和7年11月7日（金）14:00～15:30

場 所：奥野団地集会所

テーマ：高齢者等のごみ処理支援について ほか

参加者数：21名

市側出席者：市長、副市長、企画部長、環境部次長、福祉部長、都市整備部理事

■前回いただいたご意見に関する現在の状況の報告

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・当地区でも住民の高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が増えている。ごみを収集場所まで持っていくことが困難な高齢者等に代わってごみ出しを手伝っているかたに、町会からはごみ袋を贈呈している。社会福祉協議会では高齢者支援の活動にポイントを付与していると聞いたが、市からごみ出しに対して何か支援ができるのか。

⇒地域での支え合いの重要性が高まる中、市では、高齢者のボランティア活動への参加を通じた社会参加の促進を図るために、青森市老人クラブ連合会が行う高齢者の見守りを兼ねたごみ出し支援の活動「あすかプラン」への支援を今年度から新たに始めた。町会でごみ出し支援をされているかたが老人クラブの会員となり、事前登録後に支援活動を実施した場合、市のボランティアポイント制度が適用となる。制度の詳細や登録方法等については、青森市老人クラブ連合会に相談してほしい。また、高齢者に代わりごみの運搬や掃除など、他の模範となる功績のあったかたには、ごみ問題対策市民会議と連携して表彰制度を設け、表彰状のほか、ごみ袋などの記念品を贈呈している。

- ・住民の高齢化により、側溝の泥上げ等ができる人、世帯が減少している。解決策として、業者に依頼する、実施回数を年2回から1回とする等が考えられるが、これらを実施する際の費用の一部を市から支援してもらえないか。

⇒泥上げ作業にかかる費用の支援については難しいものの、市では住民の作業の軽減を図るため、町会及び個人へ側溝上げ機の貸し出しを行うとともに、側溝の中でも大型のものや道路を横断する暗渠部等、地域住民による泥上げが困難なものについては、市で清掃業者への委託、あるいは市職員が直接清掃を実施しているため、作業に関しては都市整備部道路維持課へ相談してほしい。

- ・側溝について、市が設置したものであるため市が掃除すればよいのではないかと町会内で言われることがある。設置するのは市でも、日常の維持・管理は地域で行うものだと説明しても理解されないことがあるため、側溝清掃への協力について、もう少し市民への周知を工夫した方がいいのではないか。市民でも知らない人は多くいると思う。

⇒側溝の清掃等は地域の皆さんの協力がないと大変なものであるため、現状を検証しながら周知の効果的な方法について研究していきたい。